

1. 教科の目標

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・音の重なりや和声の響き重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- ・音楽の楽しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。

2. 到達目標

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
目標	創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものになろうとする。	音楽のよさや美しさを感じ取り、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	楽曲の構成に気をつけながら、曲想を全体的に味わって聴く。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	ふしの重なり合いを感じ取る ○ピリープ ○こいのぼり	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。
5	○いつでもあの海は ○やさしい風に	・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。
6	アジアの音楽に親しもう アジアの国々の音楽 「アリラン」「まつり花」	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようにする。
7	○おはやしづくり 子もり歌	
9	重なり合う音の美しさを味わおう ○静かにねむれ それは地球 「威風堂々」第1番	・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする ・和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。
10	いろいろなひびきを味わおう ○「美しきロスマリン」「白鳥」 ○わたり鳥と少年	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。
11	○キリマンジャロ	
12	曲想を感じ取ろう ○秋にさよなら ○冬げしき 「アイネ クライネ ナハト ムジーク」	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることができるようにする。
1	日本の音楽を味わおう ○「浜辺の歌」「待ちぼうけ」「荒城の月」 ○スキーの歌 ○卒業式入場リコーダー曲	・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。 ・歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わうようにする。
2	心をこめて演奏しよう ○走れメロス	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。
3	○卒業式の歌 ○君が代	

4. 評価の観点・方法

発言内容 テスト 表情や態度の観察 演奏聴取 鑑賞態度の観察 鑑賞カードの利用 練習の様子 演奏場面の観察 などにより、単元の学習内容に応じて、各観点について評価します。

5. 保護者の方へのお願い

リコーダーなどを家庭で練習することがあります。励ましと賞賛をお願いします。